

令和6年度東部地区学力向上推進協議会 (研究発表会)



令和7年1月24日(金) オンライン開催

令和7年1月24日(金)に、東部地区学力向上推進協議会(研究発表会)を、東部管内全小・中・義務教育学校の研究推進担当者、各市町教育委員会学力向上推進担当指導主事などを対象として開催しました。本発表会においては、東部地区の児童生徒の学力向上を目的とし、「児童生徒の学力向上にむけた取組」「教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組」について、実践発表を6つの教育委員会と7つの研究校に実践発表をしていただきました。また、東部教育事務所の事業「学力向上総合プロジェクト」の紹介、「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」の動画視聴を行いました。その後、義務教育指導課指導主事による指導・講評も行い、それぞれの研究成果をはじめとする学力向上に係る効果的な取組について、東部管内の全小・中・義務教育学校に情報発信いたしました。

「児童生徒の学力向上に向けた取組」

※市町名、学校名、地区名は明記していません。

【実践発表】

● A教育委員会 ● A小学校

(1) 研究主題

子どもの学力向上と教師の働き方改革の両立を図る授業改善

(2) 発表内容(抜粋)

- ① 本校の現状
 - ・埼玉県学力・学習状況調査の結果からの分析
- ② これまでの研究
 - ・国語科におけるPDCAサイクル
 - ・授業ルール統一
 - ・手立ての有効性の検討
- ③ これからの研究
 - ・意図的な机間指導
 - ・児童の発言やつぶやきに対する教師の切り返し
 - ・研究と働き方改革の両立

【研究から分かってきた有効な手立て】

- 本時の課題(めあて)を疑問形(5W1H)にすること
- 課題に対する予想を行い、学習の見通しをもたせること
- 板書を構造化すること
- 一問複数答の発問にすること
- 学習のまとめに向かう話し合い活動を重視し、子どもの言葉でまとめたものを価値づけること

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・学力を伸ばした学年の児童の割合の向上
- ・どの教科にも有効な5つの手立ての紡ぎだし

【課題】

- ・児童側からの手だての有効性分析が未実施
- ・再編成となる他の2校とのデータ分析及び共有化

【実践発表】

- B教育委員会
- B小学校

(1) 研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成
～一人一人の確かな学力の定着を目指す授業づくりをとおして～

(2) 発表内容（抜粋）

① 授業に関わる取組（国語）

- ・ア 言葉に関する事項（音読・新出漢字・漢字フラッシュカード・辞書引き）
- ・イ 学習コーナー（学びの足あと）
- ・ウ 学びの見通しと振り返り

② 授業に関わる取組（算数）

- ・ア 計算方法の習得（マス計算）
- ・イ 学習コーナー（学びの足あと）
- ・ウ 習熟度別コース学習

③ 授業外の取組

- ・ア 校内授業研究会
- ・イ 朝のモーモータイム
- ・ウ 家庭学習の推進

確かな学力をつけるための手立て

主に関係する 資質・能力	国語		算数	
	授業内	授業外	授業内	授業外
知識及び技能	・音読の継続（見取り・新出漢字の確かな音読） ・漢字フラッシュカード ・言葉の辞書引き ・「学習コーナー」（学びのあしあと）	・コバヤン課題などの補充プリント、A4リルの活用 ・家庭学習の習慣化 ・言葉タイム	・マス計算（たし算かけ算） ・文章問題の読解の仕方、解答の仕方への確認（正しい解答、単位） ・ドリルのスライドル練習、音読問題 ・「学習コーナー」（学びのあしあと）	・コバヤン課題などの補充プリント、A4リルの活用 ・家庭学習の習慣化 ・計算タイム
思考力、判断力、表現力等	・書くことの日常化（生活の整合性、伝わりやすい内容、記述式の問題、次巻内容を読み取り場とする、条件作文、提案等）	・コバヤン課題などの補充プリント、A4リルの活用 ・家庭学習の習慣化 ・言葉タイム	・式で書いたものを言葉で記入、説明・発通し、自力解決、学び合い、まじの ・図形の具体的な操作、数直線、図の表紙	・コバヤン課題などの補充プリント、A4リルの活用 ・家庭学習の習慣化
学びに向かう力、人間性等	・様々なジャンルを意図的に読書活動（読書の振り返り）（自分の言葉で）	・読書と家庭学習の習慣化 ・読書タイム	・個に合わせた課題選択 ・授業の振り返り（自分の言葉で） ・算数ステップアップシート	・算数ステップアップシート ・家庭学習の習慣化

安心して本気で学べる教室づくり（学級経営）・教師の指導力アップ

(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・各種調査の分析から手立を考え、実践することができた。
- ・本気・全力で学ぶ姿勢を高めることができた。
- ・教員の指導力向上を図ることができた。

【課題】

- ・授業改善シートを作成し、全教科等での授業改善を行う。
- ・教科横断的な指導を行う。
- ・ミニ授業研究を全教員が行い、新たな課題への方策を検討する。

「教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組

【実践発表】

●C教育委員会 ●C小学校

(1) 研究主題

未来を育て創る教員の育成
～子どもが活躍する授業を目指して～

(2) 発表内容（抜粋）

① 児童の学力を向上させるための3つの柱

○教材研究を楽しむ

- ・単元について、本時で扱う教材について、授業の流れ、抑えるポイントや発問の確認（教材研究力）
- ・質問紙調査の実施・埼玉県学力・学習状況調査の結果考察

○授業も楽しむ

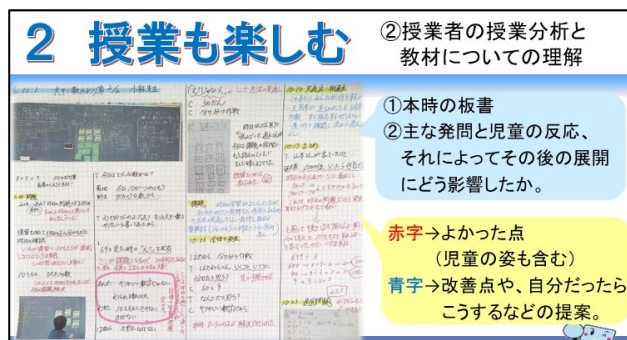
- ・示範授業による算数の流れの確認
- ・授業者の授業分析と教材についての理解

○学びに向かわせる学級経営

- ・相互授業参観（オープン授業参観）
- ・みんなで語ろうの会

② 3学期の予定

- ・より深い教材研究を行う。
- ・授業をみてもらう
- ・1年間の算数の取組を振り返る



【実践発表】

●D教育委員会 ●D小学校

(1) 研究主題

「Brush Up」～授業力、児童、自身を磨く～

(2) 発表内容（抜粋）

① 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の推進

- ・算数板書スタンダード
- ・日々の授業改善に向けた各学級担任への指導・助言

② 教員の指導力の向上

- ・学力向上だより

③ 学習状況の実態に応じた教科指導の充実

- 学調分析
- 振り返りの充実
- 目標達成シート（マンダラチャート）

目標達成シート（マンダラチャート）

子どもの視点	規律	広い視野	創造性	表情	想像力	まは	やめ	創造性
天賦	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
何れも	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気
継続性	指導者	向上心	積極性	コミュニケーション	勇気	天賦から	育つ	勇気

(3) 次年度に向けて

- 引き続き授業改善を図る指導・助言を継続
- 学力向上のための授業改善を、対象学年だけでなく学校全体で取り組める計画づくり
- 今年度の反省を生かした研修計画の練り直しと作成
- 児童にとって「やってみたい」と思えるような授業づくりの推進

【実践発表】

- E 教育委員会
- E 小学校

(1) 研究主題

主体的に考え、共に学び合う授業の実現に向けて

(2) 発表内容（抜粋）

- ① 全国学調・県学調に基づいた学力向上策
 - 出題問題の解答とつまずき点
 - 全国学力・学習状況調査埼玉県学力・学習状況調査の結果分析
 - 基礎学力の定着
- ② 教員の指導力向上
 - 授業観察
 - PJ だよりの発行
 - 授業公開 WEEK
 - 「私の決意表明」
- ③ 主体的・対話的で深い学びの推進
 - 「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査の実施
 - 子ども主体の学級づくり
「学級力向上プロジェクト」実施
 - 自己肯定感のための実践事例

(2) 教員の指導力向上

④ 「私の決意表明」

(3) 次年度に向けて

- ① 全国学調・県学調に基づいた学力向上策
 - 分析支援プログラムの活用（中位層の把握）

- ② 教員の指導力向上
 - ・学校課題研究との連携（授業の「深める」過程の充実）
- ③ 主体的・対話的で深い学びの推進
 - ・学級力のさらなる向上

【実践発表】

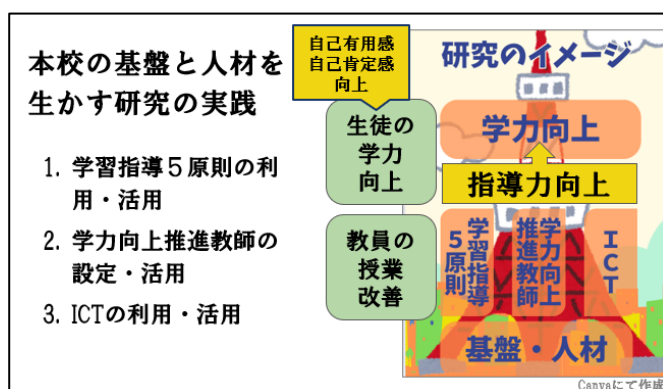
●F 教育委員会 ●F 中学校

（1）研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善の推進

（2）発表内容（抜粋）

- ① 学習指導5原則の利用・活用
 - ・「授業規律の徹底」・「学習課題の明示」・「導入の工夫」
 - ・「学び合い・教え合いの場面設定」・「振り返りとまとめの時間の確保」
- ② 学力向上推進教師の設定・活用
 - ・「書き方」「話し方」「聞き方」の設定
 - ・校内研修の運営
 - ・実践事例の周知、共有
 - ・示範授業の実施
- ③ ICTの利用・活用
 - ・「授業の質問箱」設置
 - ・デジタル掲示板の活用
 - ・学習支援ソフトの活用



（3）研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・令和6年度県学調の改善・伸長
- ・教職員の研修への積極的な参加
- ・ICTを活用した生徒への働きかけ

【課題】

- ・令和6年度県学調の課題改善
- ・教員間の共通認識・理解の促進
- ・ICT利用・活用の習熟

【実践発表】

●G 教育委員会

●G 中学校

(1) 研究主題

教員の指導力向上を通じた学力向上に向けた取組

(2) 発表内容（抜粋）

① 教員の指導力向上に向けた取組

＜指導対象教員への指導・助言＞

- ・50分間、いかに多くの英語を耳にし、口にするか
- ・こま切れ活動と学習形態の工夫
- ・授業のGoalと流れの明示
- ・Slow Learnerへの援助
- ・学力中位層への働きかけ
- ・「書くこと」を核とした授業

② 学校として学力向上に向けた取組

＜進路・キャリア教育の充実＞

- ・自己肯定感が低く、夢を持ってない生徒たち
- ・夢や希望を持たせる進路・キャリア教育
- ＜ステップアップタイム＞
- ・宿題をやり切る、家庭学習への橋渡し
- ・帰りの会の前の10分間
- ＜10分間研修＞
- ・教科や学年の壁を越えたピンポイント研修
- ・每学期実施
- ・感想、質問用紙の活用



(3) 研究の成果と課題（抜粋）

【成果】

- ・初任者の指導力向上
- ・生徒の学ぶ意欲の向上

【課題】

- ・さらなる学力向上

「令和6年度東部地区学力向上総合プロジェクトの紹介」

● 東部教育事務所 学力向上推進担当

・ 未来へつながる学びを支援する訪問

・ 授業エキスパートを目指す授業研究会

未来へつながる学びを支援する訪問

4 取組 〈中学校の実施例〉

【1回目(指導案検討会)】

- 「指導案検討会の視点」による協議 (みんなで1つの授業を創る)
- 東部教育事務所から指導・助言

【2回目(授業研究会)】

- 1日目に協議した視点を生かし、①授業者:授業実践 ②参加者:参観・協議
- 東部教育事務所から指導・助言
- 共有した授業改善の視点や方法を自己や自校の授業改善へ繋げる。

指導・助言資料

東部教育事務所 令和6年度 授業エキスパートを目指す授業研究会

「授業力向上のために、みんなが先生に学びたい！」

2024.09.19(木)

指導・助言資料

「全国・学力学習状況調査を活用した授業改善」

● 東部教育事務所 学力向上推進担当

- 各学校へのメッセージとして
- 各教科（小学校国語 中学校国語 小学校算数 中学校数学）の教科の調査問題から見える授業改善の視点について

東部地区学力向上推進協議会

全国学力・学習状況調査を活用した授業改善

令和7年1月24日(金)

東部教育事務所 学力向上推進担当

本問題の学習指導に当たって①

小学校 算数

3月16日から3月19日までの最高気温の予想					
日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	
最高気温(度)	21	20	15	14	

2月1日から3月19日までの最高気温の数値の和						
日にち	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	
最高気温(度)	21	20	15	14		
最高気温の数値の和	549	570	590	605	619	

式 549+21+20+15

①問題の条件や情報を正確に解釈し、表に表すこと。

②表をもとに式に表すこと(表と式を関連付けること)

「指導講評及び情報提供」

● 県教育局市町村支援部 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当 古畑 隆憲 指導主事

- 1 実践発表市・学校の発表について
- 2 情報提供
 - 埼玉県学力・学習状況調査の結果
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

令和6年度 東部地区学力向上推進協議会

未来を創る、こどもたち。 未来を育てる、わたしたち。

児童生徒一人一人の 確かな学力の育成に向けて

令和7年1月24日(金) 県教育局市町村支援部義務教育指導課 学力向上推進・学力調査担当